



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和4年度第15号

令和5年2月10日

文責：校長 西田 英実

令和5年度前期生徒会本部役員選挙を行いました



3学期は、1年間のまとめであると共に、次の年度への準備期間です。生徒会活動も新しい年度の準備が始まっています。2月3日（金）には、令和5年度前期生徒会役員選挙の立会演説会を行いました。候補者が一人一人、全校生徒の前で、自分の抱負をしっかりと述べました。



驚いたのは、多くの生徒が手元の原稿をほとんど、あるいはまったく見ずに演説をしていたことです。いわゆる「ノー原稿」。自分の考えや気持ちを整理し、自分の言葉で発しなければなりません。候補者7名が一人一人強い自覚を持って選挙に臨んだことがわかります。来年度の生徒会活動が楽しみです。尚、今回は、定員通りの立候補でしたので投票はなく、全員が当選しました。

また、選挙活動を支えたのが各学級の選挙管理委員の皆さん。公正で円滑な選挙活動となるように汗を流していました。おつかれさまでした。

トップ会議も力が入っています

日常的な生徒会活動や学校生活全体を振り返り、その改善を進めていくのが「トップ会議」。生徒会本部役員、各専門委員会委員長、各学級委員長が集まって様々な議題について話し合い、行動に移しています。今回は、1月30日（月）、2月6日（月）の2回にわたって会合。校則についても、生徒の意見を集約したり、生徒間、教師と生徒間で共通理解を図り、見直しや徹底の参考にすることがあります。この会議も来年度へ向けて引き継ぎを意識して、3年生、1・2年生がそれぞれ自覚をもって参加していました。



新人駅伝 大健闘です

2月4日（土）、市中体連新人駅伝競走大会が21世紀の森で行われ、本校から男女チームが出場しました。

この寒い冬も地道に練習を重ねてきました。大会では、それぞれ自己ベストをめざして力走しました。これまで一緒に練習してきた仲間の心に乗せてしっかりタスキをつなぎ、大変健闘しました。順位も男子7位、女子8位は大変立派です。保護者の皆様、これまでのご支援、ご声援、誠にありがとうございました。



↑【大会前日 これまで練習してきた仲間と志気を高めました】



←【女子の第一走者。一生懸命に前の走者を追います。チームのトップとして良い流れをつくりました。】

【男子の6人目アンカー。 → ゴール直前でデッドヒート。この競走を制して7位に！】



修学旅行校説明会を開きました

2月2日（木）、2学年の生徒、保護者を対象に、来年度の修学旅行説明会を開きました。修学旅行は、4月に、関東方面で実施する計画で進めています。説明会では、資料を見やすくするためにタブレットを用いたり、生徒実行委員による説明をしたりと、工夫して行いました。感染対策をしながら、予定通り実施できるように準備を進めていきます。保護者の皆様にもご協力よろしくお願いします。

また、説明会后、3年生として「進路実現」へ向けて、来年度の進路計画の見通し、学習の充実について学校から説明をしました。ちょうど、県立高校の出願の時期と重なり、生徒、保護者の皆様ともに、高い意識で臨んでいる様子が伝わってきました。



タブレットで資料を読み取っています

福は内！ 豆まきをしました



2月3日（金）、節分の豆まきをしました。

ALT も鬼役になって教室へ。「福は一内 鬼は一外」かけ声をかけます。今回は、豆は実際には投げず、投げる格好をする「エア豆まき」で行いました。さらわれて鬼になった生徒もアドリブで盛り上げました！

邪気を追い払い、心身共に健康で過ごせるよう願います。

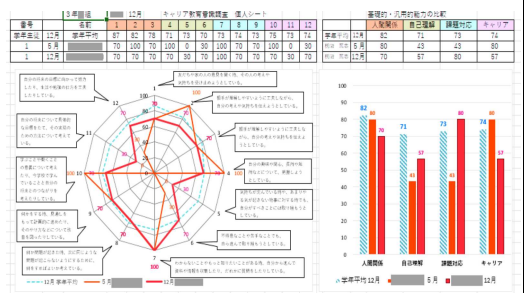


キャリア教育アンケート 個人プロフィールを配付します

本校で実施したキャリア教育アンケートについて、「個人プロフィール」を配付します。これは、生徒一人一人の資質・能力が5月と比べて12月にどのように変化したかを示しています。

ぜひ、自分の成長ぶり、課題を明らかにして、今後の学校生活を送ってほしいと思います。

右図はサンプル



音楽の授業 箏に挑戦

音楽の授業では日本の伝統音楽に親しむ時間があります。本校では「箏」を弾いています。



この日は3年生が「荒城の月」を演奏していました。

<今後の予定>

日	曜	おもな行事
13	月	
14	火	テスト前部活動なし、放課後学習会
15	水	SC 出役、部活動なし
16	木	1・2年学年末テスト 学校司書出役、放課後学習会、部活動なし
17	金	1・2年学年末テスト、学校司書出役
20	月	ICT 支援員
21	火	放課後学習会
22	水	ICT 支援員
23	木	天皇誕生日
24	金	学校司書出役、ICT 支援員

<今週のことば>

◎「オレは最強だ！」(国枝慎吾)

プロ車いすテニスプレーヤー国枝さんの言葉です。ラケットに書いています。

東京パラリンピックはじめ多くの大会で金メダルを獲得。昨年、ウィンブルドンなどの4大大会も制覇する「生涯グランドスラム」を達成。この2月に引退をしました。

「自分は決してメンタルが強いわけではない。ピンチや苦しいときに、気持ちを切り替えるためにもこの言葉を大切にしてきた」と話しています。

頑張っている自分を信じる。何よりも強いことではないでしょうか。